

内容をご熟読ください

自動車盗難防止装置

HORNET[®]
Auto Security Systems

Owner's Guide

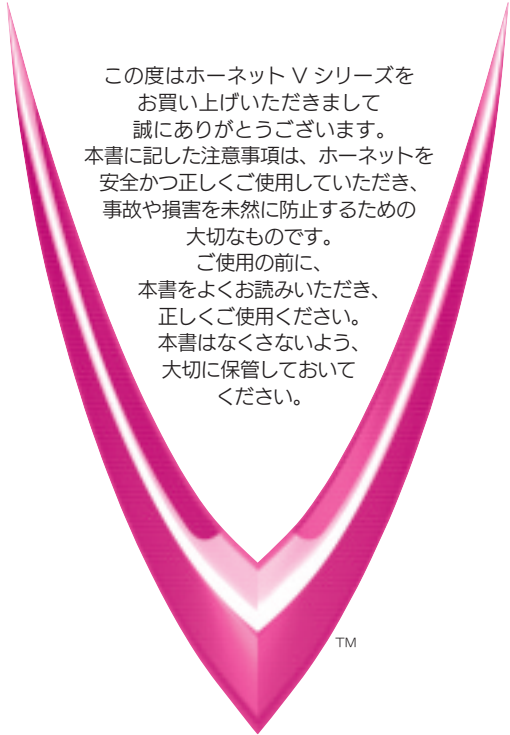
取扱説明書

TM

V810/V820/V830

「安心と安全を次の世代に」

KATO-DENKI



この度はホーネット V シリーズを
お買い上げいただきまして
誠にありがとうございます。
本書に記した注意事項は、ホーネットを
安全かつ正しくご使用していただき、
事故や損害を未然に防止するための
大切なものです。
ご使用前に、
本書をよくお読みいただき、
正しくご使用ください。
本書はなくさないよう、
大切に保管しておいて
ください。

TM

- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や記載もれなどお気付きの点がありましたら、お客様サポートセンターまでご連絡ください。
- 乱丁、落丁はお取り替え致します。
- 本書に掲載されている内容は 2010 年 6 月 1 日現在のものです。
- 本書の著作権は加藤電機株式会社にあります。
- 本書に記載されている内容は、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の掲載画像には若干の相違がある場合がございますのでご了承ください。

HORNET® コードホッピング® は加藤電機株式会社の登録商標です。
KATO-DENKI ドアトリガー® クリックトーン® ダイアグノスティック™ 等、本書記載の呼称は加藤電機株式会社の商標または登録商標です。

お取り扱い上の注意	4
安全上の注意	5
使用上の注意	5
梱包物をご確認ください	7
Vシリーズの梱包物	7
基本的なリモコンの使い方	8
リモコンの各部の名称	8
ホーネットを作動させる	9
ホーネットを解除する	9
クリックトーン®消音機能	10
パニックモード(強制サイレン)	11
ハイセキュリティ解除™ 機能	12
キャンセルモード™	13
外部機器のコントローラ(V820/V830)	14
操作方法・確認音一覧	15
リモコンの電池の交換方法	15
ダイアグノスティック™ 機能	16
センサーについて	17
2段階衝撃センサーについて	17
NR-Aノイズリダクション™ 機能	17
2段階衝撃センサーの感度調整方法	18
機能設定	20
機能設定項目について	20
機能設定手順	21
各センサーの特長	22
2段階衝撃センサー(マイクロショックセンサー)	22
ドアトリガー®	22
イグニッションONセンサー(V830)	23
イモビライザー機能(V830)	23
オプションセンサー	23

その他の機能・特長	24
デジタルリモコン(2個標準)	24
コードホッピング®	24
警報音	24
ホーン出力	24
ドアロック連動機能(V820/V830)	25
ライトフラッシュ(V810/V820)	25
ハザードフラッシュ(V830)	25
エンジンスターター/ターボタイマーとの併用	25
スキャンングLED 629TH(1個標準)	26
迷惑防止回路(NPC)	26
トラブルシュート	27
故障かな?と思ったら	27
アフターサービスについて	28
アフターサービスについて	28
保証書について	28
修理を依頼されるときは	28
お問い合わせ先・製品仕様	29
保証規定	30

本製品をご使用になるお客様への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を記載してあります。注意事項は、次のような記号に分類して表示してあります。



危険

取り扱いを誤った場合、使用者等が死亡または重傷を負う危険の生ずることが想定される事項。



警告

取り扱いを誤った場合、使用者等が死亡または重傷を負う可能性が想定される事項。あるいは、軽傷または物的損害が発生する頻度が高い事項。



注意

取り扱いを誤った場合、使用者等が損害を負う危険が想定されるか物的損害のみの発生が想定される事項。



禁止

禁止行為を表す記号。この記号が表示してある行為は絶対におやめください。



ヒント

機構上、機能上の故障やトラブルを防ぐためのヒントなどを説明。また、アクセサリーを扱う上で、各種装置の機能を正しく作動させるために必要なことや、無理な操作をさけることでアクセサリーの寿命を延ばしたり、コンディションを最高に保つためのヒントなどを説明。



強制・制約・指示等を表す記号。

※上記はいずれも安全に関する重要な事項を記していますので、必ずお守りください。

安全上の注意



警告

- エンジンルーム内に製品を取り付けたままエンジン洗浄をしないでください。ショートをし、感電や機器が故障する恐れがあります。
- リモコンはお子様の手の届かないところに保管してください。システムをOFFしてしまったり、誤って飲み込むなど事故の恐れがあります。
- メインユニットおよびオプション類の取り付けには正しい車両電装の知識が必要となります。必ず車両電装に関する詳しい知識と技術のある取付店にて行なってください。また、車両電装の知識不足による誤った設置や配線方法により車両の破損、故障等が発生しても当社では責任を一切負いかねます。知識のない方が取り付けを行なうと車両、システムの故障・損傷のみならず、人体にも危険が及ぶ恐れがあります。
- 当社全製品は、故意に分解および改造変更は絶対にしてしないでください。製品本来の機能を損なうのみならず、重大な事故が発生する恐れがあります。また、分解および改造変更を行なった製品の保証は一切しておりません。
- 本製品は大音量のサイレンを使用しています。人やペットが近くにいる時に本製品を作動させないでください。聴覚障害をおこす恐れがあります。



危険

- DC12V車両専用
24V車両には装着できません。



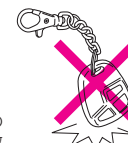
使用上の注意

(1) リモコンの取り扱いに関する注意



注意

- リモコンは落としたり重いものにぶつける等の強い衝撃を与えないでください。
- 水がかかるような保管方法や使用方法をしないでください。また、高温になる場所や湿気が多い場所に保管しないでください。
- 持ち運びの際にはリモコンの操作ボタンが押されないように十分注意してください。
- リモコンの電池が消耗した場合、リモコンの効きが悪くなってきます。早めに電池交換をしてください。
- リモコンの電池は機能テストのために使用したものであり、消耗品のため、ご購入後の使用できる期間に差があります。また、保証対象外となりますので無償交換は一切致しておりませんのであらかじめご了承ください。電池が消耗している場合には新しい電池をお求めくださいますようお願い申し上げます。
- 電波塔が近くにあるなどの電波障害がある環境の場合、リモコンの飛距離が著しく短くなる場合があります。



(2) 使用方法についての注意

! 注意

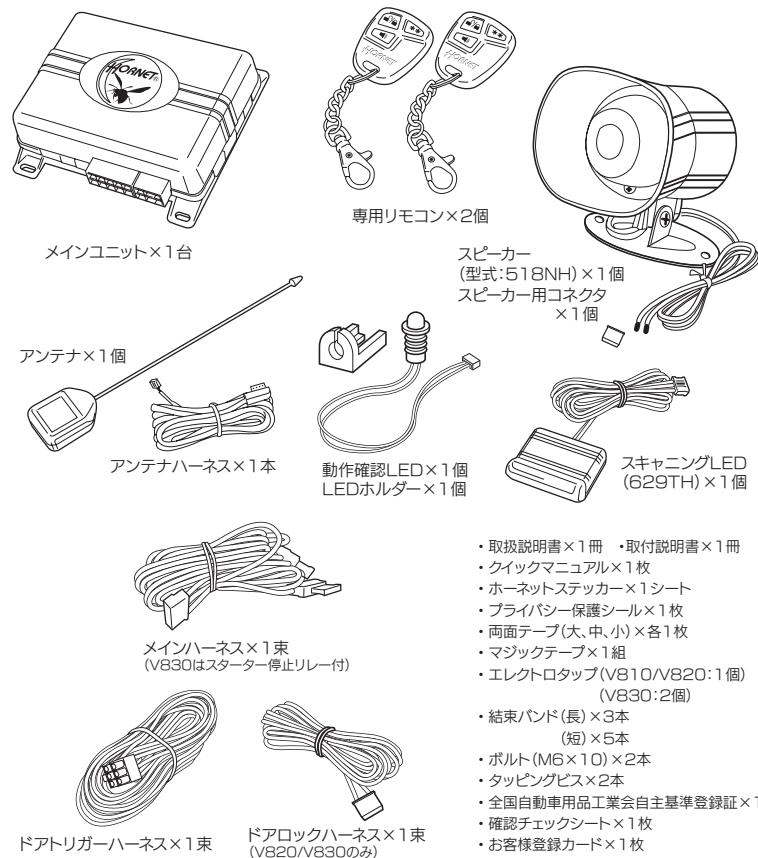
- テストの際はガラスやボディ等が破損しないように十分注意してください。当社では万一破損等が発生しても責任は一切負いかねます。
- 本製品は低消費電力設計がされておりますが、長期の連続使用や環境、車両の整備状況によってバッテリーの消耗具合が異なります。1週間以上車両をご使用されない場合等は特にご注意ください。
- 本製品の警告音、警報音は、防犯上非常に効果的な音量で発報するため騒音にならないよう、周囲の環境を考慮した上で適切な感覚にてご使用ください。
- 何らかの理由で、リモコンのボタンが押された場合には、走行中であってもパニックモードにより警報（警報音）が鳴り出す場合がありますが、あわてずにリモコンにより警報を止めてください。
- 本製品に過度の衝撃や振動は加えないでください。
- 本製品は防水構造ではないため内部へは絶対に水や油などが浸入しないように十分注意してください。
- 本製品は電波を使用している性質上、周囲に強力な電波が発生している箇所では混信を受ける可能性が全くないわけではありません。



! 必ずお読みください

- 国産車限定
日本国内メーカーの車両に対応しています。並行輸入車、外国車への取り付けサポートは行っておりません。
- 本製品の衝撃センサーは取り付けれる位置によって感度が大きく変わります。
- 本製品の作動の有無にかかわらず、車両盗難、車上ねらい等が発生しても当社では責任を一切負いかねますのでご了承ください。
- 当社では製品の検査、修理時の代品貸し出しなどは一切行っておりません。また、検査、修理時に発生した工費等の諸費用はお客様のご負担となりますのであらかじめご了承ください。
- 本製品はアナログ制御になります。コンピューターによるデジタル多重電送通信線への接続はできません。接続をした場合は、本製品のみならず車両の機器を破壊する恐れがあります。
- 車種により本製品の接続が不可能場合があります。
- 本製品の仕様およびデザインは性能向上等のため、予告なく変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

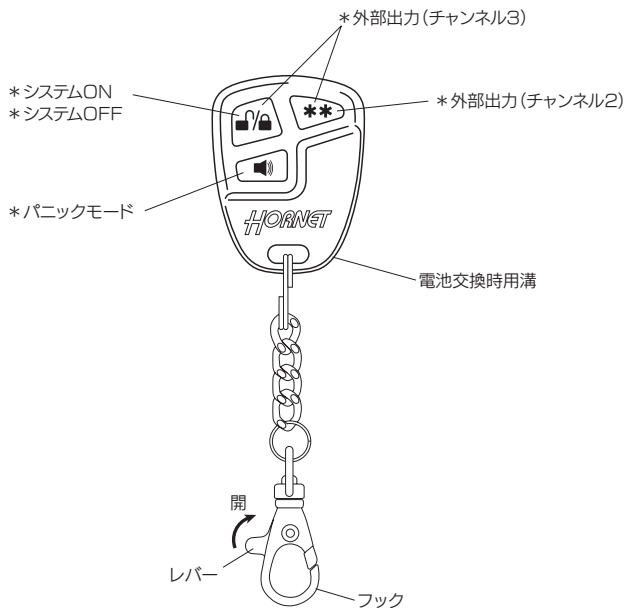
Vシリーズの梱包物 (取り付けの前に必ずご確認ください)



- ・取扱説明書×1冊
- ・取付説明書×1冊
- ・クイックマニュアル×1枚
- ・ホーネットステッカー×1シート
- ・プライバシー保護シール×1枚
- ・両面テープ(大、中、小)×各1枚
- ・マジックテープ×1組
- ・エレクトロタップ(V810/V820:1個)(V830:2個)
- ・結束バンド(長)×3本
- ・結束バンド(短)×5本
- ・ボルト(M6×10)×2本
- ・タッピングビス×2本
- ・全国自動車用品工業会自主基準登録証×1枚
- ・確認チェックシート×1枚
- ・お客様登録カード×1枚

※ステッカーはフロントガラスには貼らないでください。
側面ガラスに貼る場合は、ステッカー全体がガラスの開口部の下縁から100mm以下、かつガラス開口部の後縁から125mm以内におさまるように貼ってください。また、ステッカーの再発行は致しません。
※本製品の仕様およびデザインは性能向上等のため、予告なく変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。


リモコンの各部の名称

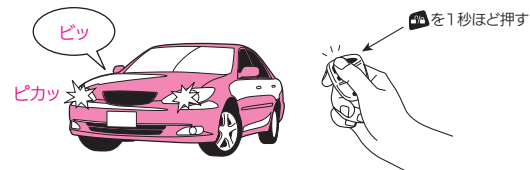


注意


- リモコンの電池は機能のテストのために使用したものであり、消耗品のため、ご購入後の使用できる期間に差があります。また、保証対象外となりますので、無償交換等は一切致しておりません。電池が消耗している場合には、新しい電池をお求めくださいますようお願い申し上げます。

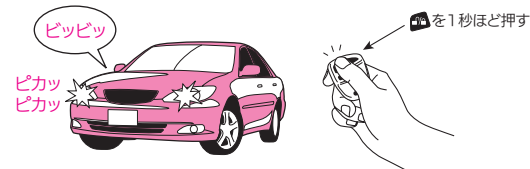
ホーンネットを作動させる

- 1 エンジン停止後、クルマから降り、すべてのドアを閉めます。
- 2 リモコンの  ボタンを1回（1秒ほど）押します。
- 3 システムが作動すると“ピッ”と1回確認音が鳴って作動したことを知らせます。
※システム作動中には、動作確認LEDが点滅を続けます。



ホーンネットを解除する

- 1 システム作動中に、リモコンの  ボタンを1回（1秒ほど）押します。
- 2 警報がなかった場合には確認音が2回“ピッピッ”と鳴って解除します。
※警報があった場合は、ダイアグノスティック機能により確認音の回数に変化し、動作確認LEDが点滅を続けます（P.16参照）。



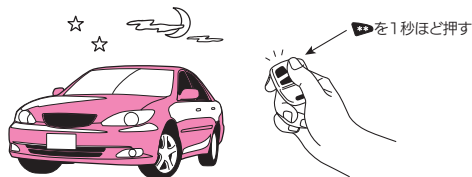
注意

- 半ドアやセンサーが働いている状態でホーンネットを作動させた場合は、システム作動確認音の2～3秒後に再度“ピッ”と確認音が鳴ります。
- 機能設定（P.20参照）でクリックトーン（動作確認音）を「OFF」に設定することで作動の確認音を鳴らなくすることができます。ボイスに設定してある場合には作動の確認音はボイスメッセージになります。

クリックトーン® 消音機能

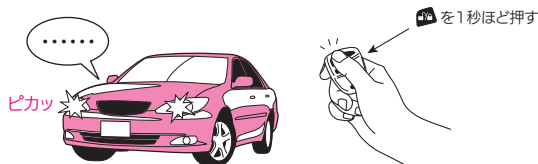
リモコン操作でホーネットの ON / OFF 時に鳴る確認音を消すことができます。住宅密集地や夜間にご使用の場合システムの ON / OFF の音を周囲に気付かたくないうちに便利な機能です。

- 1 リモコンの **▶** ボタンを1秒ほど押してください。



——5秒以内に次の操作を行なってください。

- 2 リモコンの **▶** ボタンを1秒ほど押してください。クリックトーン（動作確認音）を消してホーネットの ON / OFF ができます。



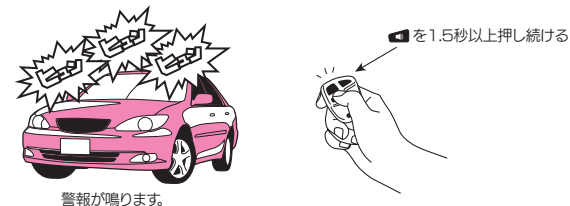
⚠ 注意

- 機能設定（P.20参照）にてクリックトーン（動作確認音）をOFFに設定した場合にはこの消音機能に関わらずクリックトーンは鳴りません。

パニックモード（強制サイレン）

リモコン操作で警報を強制的に鳴らすことができます。緊急時や周囲に異常発生を知らせたいなどに便利です。

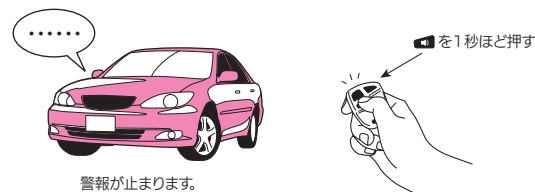
- 1 リモコンの **▶** ボタンを、1.5秒以上押し続けます。



パニックモード

警報は設定した秒数鳴ります。(P.20参照)

- 2 警報音が鳴っている最中にリモコンの **▶** ボタンを再度押すと、警報音が止まります。

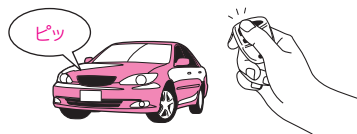


ハイセキュリティ解除™ 機能

警報音が鳴っている最中にセキュリティを解除せずに、警報音のみを止めることができます（ハイセキュリティ解除機能）。システムが解除状態にならないため、セキュリティを再度 ON にする必要がありません。

1 システム ON

システム作動、5秒後にセンシング開始。



2 警報発報

センサーが異常をキャッチすると警報が鳴り始めます。



3 ハイセキュリティ解除

警報が鳴っている最中に操作すると警報音のみ止まります。システムは引き続き警戒を続けます。



警報が止まります。

4 システム OFF

メモリー機能により警報があったことを記憶し、4回動作確認音が鳴ってシステムが解除します。



警報が解除します。

キャンセルモード™

幹線道路周辺やコンビニエンスストアなど振動の多い場所に駐車する場合、リモコン操作で内蔵の2段階衝撃センサーと、センサーポートに接続したオプションセンサー（V820/V830）を一時的にスリープ状態にできます（キャンセルモード）。環境に応じてセンサーを動かさたくない場合に便利な機能です。

1 リモコンの [P] ボタンを1秒ほど押しシステムを ON にします。



——5秒以内に次の操作を行ってください。

2 リモコンの [**] ボタンを1回押します。



3 確認音“ピッピーューピュー”と鳴り、内蔵の2段階衝撃センサーと、センサーポートに接続したオプションセンサー（V820/V830）が動かなくなります。

※クリックトーン消音機能を使用した場合でもキャンセルモードの設定音は消音できません。

4 キャンセルモードは、システムをOFFにすると同時に解除されます。

ヒント

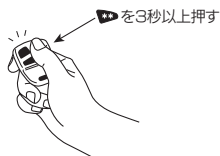
- キャンセルモード設定後は、メインユニット内蔵の2段階衝撃センサーと、センサーポートに接続されたオプションセンサー（V820/V830）はスリープ状態になりますが、その他のセンサーは作動しています。
- 機能設定（P.20参照）でクリックトーン（動作確認音）を「ボイス」に設定してある場合には作動の確認音はボイスメッセージになります。

外部機器のコントロール (V820/V830)

リモコンから外部機器のコントロールができます。
 ホーネット専用エンジンスターターやトランクオープナーなど、ひとつのリモコンで2つまで外部機器のコントロールができとても便利です (取り付けが必要です)。

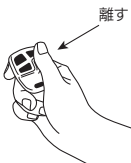
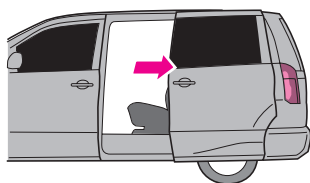
チャンネル2

- コントロールの開始**
 リモコンの ****** ボタンを3秒以上押し続けると、外部機器のコントロールを開始します。
 ※リモコンのボタンはコントロール開始後も押し続けてください。



- コントロールの停止**
 リモコンの ****** ボタンを離すと停止します。
 ※コントロール可能な時間は最大約15秒です。

<一例>



チャンネル3

- コントロールの開始**
 リモコンの **🔒** ボタンと ****** ボタンを同時に1秒以上押し続けると、外部機器のコントロールを開始します。
 ※リモコンのボタンはコントロール開始後も押し続けてください。



- コントロールの停止**
 リモコンの **🔒** ボタンと ****** ボタンを離すと停止します。
 ※コントロール可能な時間は最大約15秒です。



注) 外部機器のコントロールには別途オプションが必要になります。また別途取り付けが伴うため、取付店にご相談ください。車種によりコントロールできない外部機器があります。

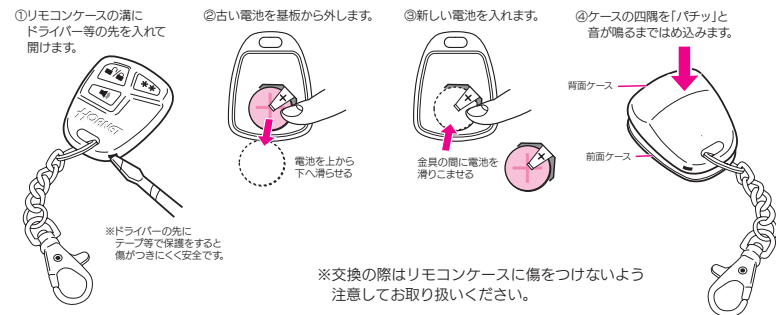
操作方法・確認音一覧

機能	リモコン操作	確認音※1	ボイスメッセージ※2
システムON		「ビッ」	System armed
システムOFF		「ビッビッ」	System disarmed
システムOFF (発報後)		「ビッビッビッビッ」	System disarmed violation
チャンネル2 (V820/V830)		——	——
チャンネル3 (V820/V830)		——	——
キャンセルモード™		「ビッビュービュー」	Entering the cancel mode
消音機能		——	——
パニックモード (強制発報)		警報発報	警報発報
警告音	——	「ビッビッビッビッ……」	Protected by security system, stand back
警報発報	——	警報発報	警報発報

※1 機能設定でクリックトーンを「A」または「B」に設定している場合
 ※2 機能設定でクリックトーンを「ボイス」に設定している場合

リモコンの電池の交換方法

リモコンの電池が消耗してきた場合電池を交換してください。
 対応する電池は「CR2032」型のボタン電池です。



⚠ 注意

- 交換の前に、あらかじめ金属部分などに触れて静電気を除去した、乾いた手で取り扱いください。
- ケース内部へは絶対に水や油、ほこり等が浸入しないように十分注意してください。

ダイアグノスティック™ 機能

動作確認 LED や動作確認音によって、センサーが異常を検出して警報があった場合にその原因をある程度特定することができます (ダイアグノスティック™ 機能)。

メモリー機能

クリックトーン (動作確認音) の回数により、発報の有無などの確認が行なえます。また、半ドアやセンサーが反応した状態でシステムを ON にした場合には、確認音が鳴ることでレポートを行ないます (センサーレポート機能)。

操作	レポート内容	動作確認音
システムON	システム作動	ビツ(System Armed)
システムON	半ドアやセンサーが反応した状態でシステムが作動	ビツ(System Armed) 約2~3秒後 ビツ
システムOFF	システム解除	ビツビツ (System Disarmed)
システムOFF	警報があった後にシステム解除	ビツビツビツビツ(System Disarmed Violation)

ゾーンID

警報があった場合、動作確認 LED の点滅回数が変化します。動作確認 LED の点滅をみることで、どのゾーンが反応したのかを確認することができます。LED の点滅は、およそ 2 秒ごとに行なわれます。

ゾーンID(LEDの点滅回数)	警報内容	対応機種		
		V810	V820	V830
1	オプションセンサーが反応	○	○	○
2	内蔵2段階衝撃センサーが反応	○	○	○
3	ドアトリガーが反応	○	○	○
4	オプションセンサーが反応	-	○	○
5	イグニッションONセンサーが反応	-	-	○

📖 ヒント

ダイアグノスティック™ 機能のリセット

システムをONにすると同時にダイアグノスティック™ 機能もリセットします。

⚠️ 注意

- ダイアグノスティック™ 機能は、最後に異常を検出したセンサーに対してレポートします。警報があったすべての原因がわかるものではありません。

2段階衝撃センサーについて

【上手な感度設定の仕方】

- クルマを駐車している環境に応じて感度を設定する必要があります。ここでは代表的な感度設定の例をご紹介します。

例1：微振動が発生する要素が多くある場合

- ・幹線道路の近くでトラックなどの往来がある
- ・バックファイヤーの激しいクルマが往来する
- ・飛行場などの近く
- ・工事現場や工場の近くなど

警告音のみで効果的に威嚇
警告モード 0~5
警報モード 0

例2：犯罪防止のため異常時は必ず警報音を鳴らしたい

- ・警報音が鳴っても特に問題ない環境

警告音と警報音で効果的に威嚇
警告モード 8~15
警報モード 3~7

例3：閑静な住宅街であまり警報音は鳴らしたくない

- ・周りでは微振動は起きない
- ・強い衝撃では警報を鳴らしたい

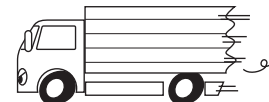
警告音と警報音で効果的に威嚇
警告モード 10~15
警報モード 1~3

⚠️ 注意

- 機能設定で警告音設定を「ON」にしていない場合、警告音は鳴りません (標準「OFF」)。
- 機能設定でフルサイレンを「ON」にしていない場合、警報音は鳴りません (標準「ON」)。
- 本製品は大音量で警告または警報音による威嚇ができます。
- 2段階衝撃センサーの感度は取付位置や取付向き、車両のボディ剛性によって大きく異なります。
- 2段階衝撃センサーの感度を0に設定した場合でも、ドアのこじ開けを検出するためのセンサーは独立して作動しています。ドアなどがこじ開けられた場合に警報音が鳴ることを確認してください。
- 2段階衝撃センサーは風などによる“揺れ”には反応しません。

NR-Aノイズリダクション™ 機能 特許

NR-Aの採用によりトラック通過ノイズ等による連続微振動に対する警報発報を大幅にキャンセルできるようになりました。また、強風などの揺れに反応しないため誤報が大幅に低減されました。



2段階衝撃センサーの感度調整方法

リモコンからの操作で2段階衝撃センサーの感度調整ができます。

- 1** リモコンの  ボタンを1秒ほど押してシステムをONにします。



警告モードの感度調整


警告音を鳴らす感度調整のモードです。

警報モードの感度調整


警報音を鳴らす感度調整のモードです。

- 2** リモコンの  ボタンを1秒以上押してシステムをOFFにします。




- 3** 前の操作から5秒以内にリモコンの  ボタンを3秒以上押すと、感度調整モードに入ります。確認音“ピューピュー”が鳴れば、感度調整モードに入っています。5秒以上放置すると、感度調整モードを自動的に終了します。

- 4** 感度を上げる場合(最大15)

リモコンの  ボタンを押すたびに感度レベルの確認音“ピッピ”が鳴って1段階ずつ感度が上がります。最大感度になると確認音“ピッピ ピューピュー”が鳴って知らせてくれます。



- 5** 感度を下げる場合(最小0)

リモコンの  ボタンを押すたびに感度レベルの確認音“ピッ”が鳴って1段階ずつ感度が下がります。最低感度になると確認音“ピッ ピューピュー”が鳴って知らせてくれます。



ヒント

- 初期設定は警報モード、警告モード共にレベル7設定です。

- ◎機能設定で警告音設定を「ON」にしていない場合、警告音は鳴りません(標準「OFF」)。
- ◎機能設定でフルサイレンを「ON」にしていない場合、警報音は鳴りません(標準「ON」)。

機能設定項目について 下線が初期設定

1 クリックトーン®(動作確認音) ON/OFF

システムの作動時と解除時の確認音の有/無を選択できます。

2 音色タイプ A/B/ボイス

システムの作動音と解除音、警告音を変更できます。
2種類の音色とボイスメッセージから選択できます。

3 サイレンタイム 30/5/10/15/60秒

警報時間を選択できます。

4 警告音設定 ON/OFF

2段階衝撃センサーやオプションセンサーが反応した時に鳴る警告音の有/無を選択できます。

5 ドアトリガー®エラー音 ON/OFF

OFFにした場合、システムをONにした時に残照灯などにより、センサーレポート機能(P.16)が働いてしまうことを防ぎます。必要な場合のみOFFにしてください。

6 フルサイレン ON/OFF

OFFにした場合、内蔵の2段階衝撃センサーや、オプションセンサーが反応した場合には警報を発報しなくなります。
ドアトリガーや、イグニッションONセンサー(V830)のみ作動させたいときにOFFにします。

7 ホーン出力 ON/OFF

各センサーが反応し、フルサイレンを発報した場合に車両のホーンを鳴らすかどうかを設定できます(別途ホーン配線が必要です)。

8 NPC機能 ON/OFF

NPC機能(P.26)のON/OFFを選択できます。


9 警報音量 HIGH(128dB)/LOW(110dB)

警報の音量をHIGHとLOWから選択できます。

10 警報パターン A/B





警報時の音を変更できます。

機能設定手順



- 1 リモコンの  ボタンを1秒ほど押してシステムをOFFにします。
※すでにシステムが解除されている場合には、一度システムをONにしてからOFFにしてください。






5秒以内に次の操作を行ってください。


- 2 リモコンの  ボタンと  ボタンを同時に3秒以上押すたびに確認音が鳴り、設定項目を選択できます。
設定項目を選択したあとに、 ボタン又は  ボタンを押すことで設定内容の選択が行えます。



項目番号	設定項目	確認音	 ボタン 確認音「ビュ」*1	 ボタン 確認音「ビッピ」*1
1	クリックトーン	ビュビュ ビュ	ON	OFF
2	音色タイプ	ビュビュ ビッピ	A	B/ボイス*2
3	サイレンタイム	ビュビュ ビッピッピ	30秒	5/10/15/60秒*3
4	警告音設定	ビュビュ ビッピッピッピ	ON	OFF
5	ドアトリガーエラー音	ビュビュ ビッピッピッピッピ	ON	OFF
6	フルサイレン	ビュビュ ビッピッピッピッピ	ON	OFF
7	ホーン出力	ビュビュ ビッピッピッピッピッピ	ON	OFF
8	NPC機能	ビュビュ ビッピッピッピッピッピッピ	ON	OFF
9	警報音量	ビュビュ ビッピッピッピッピッピッピ	HIGH(128dB)	LOW(110dB)
10	警報パターン	ビュビュ ビッピッピッピッピッピッピッピ	A	B

※1 動作確認LEDを使用した場合に、 ボタンでは点灯、 ボタンでは点滅して設定状況の確認ができます。

※2 確認音はリモコンの  ボタンを押すたびにB=2回、ボイス=3回に変化します。

※3 確認音はリモコンの  ボタンを押すたびに5秒=2回、10秒=3回、15秒=4回、60秒=5回に変化します。

 ヒント

- 各操作は5秒以内に行ってください。5秒以上操作しない場合には確認音「ビッピュビュ」が鳴って設定を終了します。設定できなかった場合は最初からやり直してください。
- 項目変更操作は設定項目を飛ばしたり、前の項目に戻ったりすることはできません。項目変更操作をまちがえた場合は最初からやり直してください。

2段階衝撃センサー (マイクロショックセンサー) **特許**

車体に加えられる衝撃を自動判別して弱い衝撃では警告音、強い衝撃では警報音を鳴らして威嚇します。(リモコンによる独立感度調整)
風などの揺れにはまったく反応せず、瞬間的に加わる衝撃あるいは衝撃波のみを検出します。
お客様のご使用環境に応じて感度調整が行なえます。(P.18 参照)



ヒント

ホーン出力 (P.24) 接続時には、警報音が鳴っている間断続的にホーンを鳴らします。

ドアトリガー®

システム作動時にドアを開けるとまず警告が鳴り、続いて警報音で威嚇します。



ヒント

ホーン出力 (P.24) 接続時には、警報音が鳴り始めた 5 秒後に断続的にホーンを鳴らします。

イグニッションONセンサー (V830)

エンジン始動を感知するセンサーです。
システム作動中に、エンジンをかけようとするともまず警告が鳴り、続いて警報で威嚇します。



ヒント

- ホーン出力 (P.24) 接続時には、警報音が鳴り始めた 5 秒後に断続的にホーンを鳴らします。
- イグニッション ON センサーを使用する場合、エンジンスターター/ターボタイマーとの併用はできません。

イモビライザー機能 (V830)

システム作動中に、エンジンをかけようとしてもエンジンがかかりません。

オプションセンサー

本製品には、様々なオプションセンサーを追加することができます (別売)。
用途に応じてご利用ください。

- 取付可能なオプションセンサーの一例
ジャッキアップ、レッカー盗難に対して
- ・デジタル傾斜センサー (633M)
- 車内への侵入に対して
- ・超音波センサー (509U)

ヒント

ホーン出力 (P.24) 接続時には、警報音が鳴っている間断続的にホーンを鳴らします。

デジタルリモコン (2個標準)

デジタルリモコンのIDコードの組み合わせは7378京6936兆通り以上あり、電波の混信が起こりにくい仕様です。

⚠ 注意

- リモコン増設をご希望の場合は、保証書をお持ちの上、取付販売店にご相談ください。
- セキュリティ製品のため保証書をご提示いただけない場合、増設をお断りする場合がございます。
- リモコンは最大4個まで併用可能。
- リモコン用電池：型式CR2032 (2個入り)



型式：493H

コードホッピング® 特許

コードホッピング (IDコード盗難防止機能) は、リモコンのコードを特殊なプログラムによりランダムに変化させ一度使用したリモコンコードは2度と使用しないため、IDコードの盗難を完全に防止できます。

警報音

犯罪心理学を研究し選ばれた犯罪抑止効果の高い6音色で構成されています。音量は緊急自動車のサイレン音量に近い最大約128dBで撃退効果は抜群です。音色は、6音色パターン「A」または「B」から、音量は「HIGH (128dB)」または「LOW (110dB)」からそれぞれ選択できます。



また、ソフトチャープにより、システムのON/OFF、警告時の音は、警報音よりも若干小さな音で行なわれます。

ホーン出力

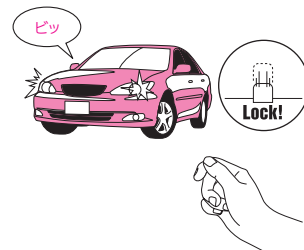
警報時に車両のホーンを断続的に鳴らすことができます。機能設定にてOFFにすることができます (P.20 参照/別途取付必要)。

標準設定：ON

ドアロック連動機能 (V820/V830)

システムのON/OFF操作に連動して、ドアをロック/アンロックできます。リモコン1回の操作でセキュリティとドアロックを同時に動かすことができます。

※ドアロックシステムは車種により異なるため、別途オプションが必要になる場合があります。



ライトフラッシュ (V810/V820)

システムのON/OFF時、警告時、警報時にクルマのスマールライトを点滅させることで、視覚的にも犯人を撃退することができます。

※車種により別途ライトフラッシュリレー (525T) が必要となる場合があります。



ハザードフラッシュ (V830)

システムのON/OFF時、警告時、警報時にクルマのハザードを点滅させることで、視覚的にも犯人を撃退することができます。

※V810/V820でハザードフラッシュを行なう場合には別途ハザードフラッシュリレー (527H) が必要です。

エンジンスターター/ターボタイマーとの併用

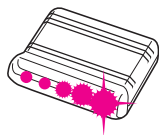
エンジンスターターやターボタイマーなどによりエンジンが作動している中でも、ドアのこじ開けに対して警報音を鳴らすことができます。エンジン作動中ドアトリガー以外のすべてのセンサーはスリープモードとなり反応しませんが、エンジン停止後は約5秒後に自動復帰します。

※V830では、イグニッションONセンサーとは併用できません。



スキャンングLED 629TH (1個標準)

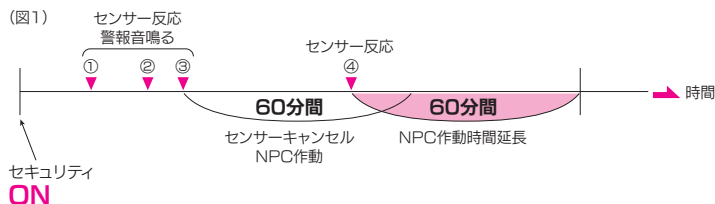
スキャンングLEDの点滅により、作動中であることの確認ができます。また、犯人への威嚇効果も抜群です。



迷惑防止回路 (NPC)

近所迷惑などを防止するため、同じセンサーが連続して反応し、警報音を鳴らすことを防止できます。

NPC ON	NPC OFF
<ul style="list-style-type: none"> ●同じセンサーが1時間以内に3回警報音を鳴らした場合、3回目に警報音を鳴らした時点から60分間そのセンサーをキャンセルします。 ●NPC作動中、4回目に同じセンサーが反応した場合、その時点からさらに60分間NPC作動期間を延長します。(図1) ●反応したセンサーに関わらず、8回警報した場合、一度システムをOFF/ONしない限り、警報音は鳴らなくなります。 	<ul style="list-style-type: none"> ●同じセンサーが反応するたびに警報音を鳴らし、威嚇します。



ヒント

NPCをリセットするには?

- ①システムOFF後キーでイグニッションをONの位置にします。(エンジンをかけると自動的にリセットされます)
- ②システムOFF後、次にシステムONした場合には、NPCはリセットされます。

故障かな?と思ったら

症状と原因	対策
☆勝手に警報音が鳴る <ul style="list-style-type: none"> ・メインユニットの固定が不十分 ・電源線の接触不良 ・各センサーの感度が高すぎる ・衝撃センサーの感度が強すぎる 	確実に固定してください。 電源線を確実に接続してください。 センサーの感度を絞ってください。 感度を絞ってください。
☆セキュリティをONした後、数秒後に「ピッ」と鳴る <ul style="list-style-type: none"> ・センサーレポート機能が働いている 	詳細はP.16を参照してください。
☆リモコンが利かない <ul style="list-style-type: none"> ・同調がずれている 	再度リモコンの同調をしてください。 (取付販売店に依頼してください) *メインユニットの電源を何度か投入した場合に電源ノイズによりリモコンの同調がずれることがあります。
<ul style="list-style-type: none"> ・ラジオ局など無線局が近くにある ・アンテナを金属部に接続している ・リモコンの電池がない ・リモコンの電池の接触不良 ・バッテリーが弱っている ・水の浸入があった 	車の近くに寄って操作してください。 アンテナの固定箇所を変えてください。 新しい電池に交換してください。 電池を入れ直してください。 新しいバッテリーに交換してください。 お買い求めの販売店に持ち込み修理を依頼することをお勧めします。
*水の浸入による故障は保証期間内であっても有償修理となります。	
☆ドアを開けても警報音が鳴らない <ul style="list-style-type: none"> ・システムをONしてから5秒以上待っていない ・ドアトリガー線の接続不良 	システムをONしてから5秒以上待ってください。 ドアトリガー線を確実に配線してください。
☆叩いても警報音が鳴らない <ul style="list-style-type: none"> ・システムをONしてから5秒以上待っていない ・車体を揺らしている ・感度が低すぎる ・メインユニットの固定位置が最適でない ・黄色線を常時電源に接続している 	システムをONしてから5秒以上待ってください。 揺れには反応しません。 感度を上げてください。 説明書通りに固定してください。 黄色線は必ずIG-ONで+12Vが供給される線に接続してください。
☆オプションセンサーが働かない <ul style="list-style-type: none"> ・システムをONしてから5秒以上待っていない ・感度が低すぎる ・テスト方法が違っている 	システムをONしてから5秒以上待ってください。 感度を上げてください。 各センサーに最適なテスト方法でテストしてください。 (オプション付属の説明書参照) 黄色線は必ずIG-ONで+12Vが供給される線に接続してください。

上記のテストを行っても正しく作動しない場合は取付販売店へお尋ねください。

アフターサービスについて

アフターサービスについて

- 万一、故障が生じたときは、当社保証規定に基づき修理致します。
- 本製品の保証期間はご購入の日から1年間です。
- 保証期間経過後は、修理によって本製品の性能が維持できる場合、お客様のご要望により有料にて修理致します。ただし、本製品の補修用性能部品がなくなり次第修理受付は終了いたします。補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

保証書について

- 製品保証書は本書に添付しております。ご購入の際には大切に保管してください。尚、店名、ご購入日、お客様名などの必要事項の記載のないものは保証期間中であっても無効となります。
- シリアル番号は安全確保上重要なものです。ご購入の際にはメインユニットにシリアル番号が表示されているか、また、保証書記載のシリアル番号と一致しているかお確かめください。

修理を依頼される時は

- 説明書に記載の「故障かな?と思ったら」(P.27)を参考にして、故障かどうかを確認してください。故障とお考えの前に取付販売店またはお客様サポートセンター (P.29)にご相談ください。当社お客様サポートセンターへご相談後に検査依頼をされた場合でも、送料はお客様のご負担となります。
- 修理をご依頼の際は、下記事項を確認して取付販売店へご依頼ください。
このとき保証書は必ずご提示ください。

- 1 型式名、型番号、シリアル番号
(例：ホーネットV830 5012204321)
- 2 故障の内容
(どのような症状か・どんな時に症状がでるか・いつでもでるか、時々かなど)
- 3 お買い上げ年月日
- 4 お買い上げ店名
- 5 お名前、住所、連絡先電話番号

- 修理時に取り外した不良品は品質改善のため、あしからず当方にて引き取らせて頂きます。
- 購入店が移転・閉店した場合は、お近くのホーネット取扱店までご相談ください。
- 当社では製品の検査・修理時の代品貸し出し等は一切行っておりません。また、修理を依頼される際の送料、取り付け・取り外しにかかる工賃等の諸費用はお客様のご負担となりますのであらかじめご了承ください。

お問い合わせ先・製品仕様

- ホーネットについてのお問い合わせは……

KATO-DENKI

加藤電機株式会社

お客様サポートセンター

TEL 0569-26-0088

FAX 0569-26-0089

営業時間 月～金 10:00～17:00 (祝日、年末年始等は除く)

※お問い合わせの際は、ホーネットの型式とシリアル番号を確認させていただきますのであらかじめご準備ください。



製品仕様

●電源電圧	DC12V
●平均消費電流(待機時)	約20mA(動作確認LED/スキャンングLED含む)
●平均消費電流(警報時)	約800mA(警報音量HIGH) 約250mA(警報音量LOW)
●サイレン音圧	約110dB/128dB
●使用周囲温度	約-40°C~+85°C
●メインユニット外形寸法	約93×88×34mm
●質量	約116g

保証規定

《保証規定》

- 1: 本製品は高度の品質管理を致しておりますが、保証期間中に取扱説明書、取付説明書などの注意に従った使用状態で万一故障した場合には保証規定に従い、お買い上げの販売店または当社修理窓口が有償または無償にて保証致します。
- 2: 本製品は持ち込み修理品となりますので、保証期間内に故障して保証をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店または修理窓口へ直接製品をお送りいただく際に発生する送料はお客様のご負担となります。その際には、保証書を必ずご提示ください。保証書のない場合には保証対象外(有償)となります。
- 3: 製品の回収、取り付けの際に伴う諸費用、代車費用、内装新品交換等はお客様負担となります。
- 4: ご転居、ご贈答品などで保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には当社窓口までご相談いただくか、お近くのホーネット取扱店へご相談ください。
- 5: 保証期間内でも次の場合には保証対象外(有償)となります。
 - 使用上、取付上の誤り、不注意による故障および損傷
 - 不当な修理、改造による故障および損傷
 - お買い上げ後の取付場所の移動、落下、水分、油分の浸入、冠水、熱、異常電圧による故障および損傷
 - 火災、地震、風水害、落雷、ガス害その他天変地変、公害、塩害などによる故障および損傷
 - 自動車事故により発生した故障および損傷
 - 消耗品(電池、各部ゴム、テープ、ヒューズなど)の交換
 - リモコン増設の場合
 - 本保証書のご提示がない場合
 - 本保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名等の所定の記入事項が未記入、不明確あるいは文字を書き換えられた場合
 - 故障の原因が本製品以外の他社製品にある場合
- 6: 保証規定は日本国内においてのみ有効です。
(This warranty is valid only in Japan.)

この保証書は、本書に明示した、期間、条件のもとにおいて無償保証修理をお約束するものです。従ってこの保証規定によりお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間を過ぎている場合は、修理できる製品については、ご希望により有償で修理させていただきます。ただし、本製品の補修用性能部品がなくなり次第、修理受付は終了いたします。補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。ご不明な点は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

MEMO

発売元 **KATO-DENKI**

加藤電機株式会社 〒475-8574 愛知県半田市花園町6-28-10

GS-S144-I

